

ポスターセッション 参加グループリスト

活動報告 1

大学院 政策創造研究科 上山肇ゼミ

- ・ 発表学生：牧田博之（修士1年）
- ・ 活動テーマ：「静岡市における”住民参加のまちづくり”に関する研究＝清水区庵原地域における取り組み＝」
- ・ 概要：国レベルの大規模事業が進む中、地域住民が変貌する地域の将来に対して不安・危機感を感じていた。地域の課題や”こんなまちにしたい”ワークショップを自ら企画し、試行錯誤を重ねながら自治会と共にまとめ、市長に対し提言書を提出した。

活動報告 2

大学院 政策科学研究科（正）増田正人ゼミ（副）小峰隆夫・池永肇恵合同ゼミ

- ・ 発表学生：大倉忠人（博士後期課程3年）
- ・ 活動テーマ：「地域振興のための人材開発」
- ・ 概要：大倉は2007-2009年に大学院を休学し、青年海外協力隊の隊員としてキルギス共和国・ナリン州政府へ行政サービス職にて赴任した。ナリン州政府においては、労働環境の改善、行政サービスの改革提言などに加え、人材育成の必要性を痛感し、ナリン州のこども教育センター内に「ナリン日本センター」を開設した。同センターにおいては、主に日本語教育を軸とした日本文化の伝達を通じて、地域のリーダーとなりうる人材の育成に注力した。帰任後も、センターは「ナリン日本リソースセンター」と名称を変えて、現在も後任の隊員が人材育成に励んでいる。本ポスターセッションへの参加が叶った場合には、「まちづくりにおける人づくりの重要性」を伝えることを主眼においた報告を行なう。

活動報告 3

人間環境学部 フィールドスタディ

- ・ 発表学生：高山千加子（人間環境学科3年）
- ・ 活動テーマ：「石巻北上町生業学習ボランティア」
- ・ 概要：私達8名は人間環境学部のフィールドスタディ制度（授業だけでなく実際に現地を訪れて勉強をする）を利用して、石巻北上町でボランティア活動（子供達との関わり（学習支援、一緒に遊ぶ）、生業支援（農業、漁業のお手伝い））を8月に5泊6日で行った。①子供との関わりの中で感じたこと、②農業支援や漁業支援をする中で感じたこと、③ボランティアとして感じたことという3つの軸を中心として発表する。

活動報告 4

人間環境学部 人間環境学科 小島聡ゼミ

- ・ 発表学生：尾田高章（人間環境学科4年）
- ・ 活動テーマ：「学びの里サマーカレッジ」
- ・ 概要：長野県飯山市の地域づくりについて提言型調査研究（2004～）を行い、さらに、その成果に基づいて、地域の住民、公共団体等と協働で「学びの里サマーカレッジ」（2006～）を実施している。2012年度の提言とその内容を反映した第8回学びの里サマーカレッジ（9月7日～8日）の成果を発表する。

活動報告 5

人間環境学部 高田ゼミ

- ・ 発表学生：松田弘一郎（人間環境学科 3年）
- ・ 活動テーマ：「野鳥を通して地域の環境を考えよう」
- ・ 概要：高田ゼミでは、地域の環境保全活動団体との交流などを通して、生き物と環境との関係理解を探求しているが、その一環として、環境の指標にふさわしい野鳥を対象に、ゼミ生が観察の基本技術を習得し、それを通して環境を理解し読み解く能力を培い、後輩たちに引き継いでいる活動の一端を紹介する。

活動報告 6

人間環境学部 CES研究ゼミ

- ・ 発表学生：勝田琴子（人間環境学部 4年）
- ・ 活動テーマ：「千代田エコシステム（CES）における個人の環境配慮行動の促進プログラムの提案と実践」
- ・ 概要：CES研究ゼミは、千代田区の環境改善を目指す『千代田エコシステム』のプログラムを提案・実践している。現在は「環境講座」の開催や区内児童館での環境教育などに取り組み、地域についての学習も進めている。

活動報告 7

法学部 政治学科 細井ゼミ

- ・ 発表学生：宮木伯明（政治学科 3年）
- ・ 活動テーマ：「自治体におけるインターンの報告」
- ・ 概要：公共政策インターンシップとして杉並区協働推進課における取り組みについて発表する。

活動報告 8

法学部 政治学科 廣瀬克哉ゼミ

- ・ 発表学生：河合祥平（国際政治学科 3年）
- ・ 活動テーマ：「川越で生きていく」日本公共政策学会学生政策コンペ参加政策提言
- ・ 概要：廣瀬ゼミは、2013年9月28日に川越市にて開催された日本公共政策学会主催「公共政策フォーラム 2013 in 川越」で行われた学生政策コンペに参加した。応募テーマ「住むことに誇りを持ち、住んでよかったと思えるまちをめざして～人口減少社会におけるまちづくり～」に対して、新興住宅地住民も含む多数の市民の川越というまちへのコミットメントを涵養するための映像イベントを軸とする事業提案を行った。

活動報告 9

現代福祉学部 水野雅男ゼミ

- ・ 発表学生：林英奈（福祉コミュニティ学科4年）
- ・ 活動テーマ：「八王子駅南口活性化 Haney's Garden プログラム参加」
- ・ 概要：八王子駅南口の活性化をテーマにした政策提言（大学コンソーシアム八王子主催）を実現化するために、今年度は同地区の地域資源や課題を把握する。10月27日に開催されるイベント”Haney's Garden”において、東京造形大学と協働で①来場者の実態調査、②キッズバーを実施する。

活動報告 10

現代福祉学部 保井美樹ゼミ

- ・ 発表学生：近藤弘志（福祉コミュニティ学科2年）
- ・ 活動テーマ：「地域とつながり、私たちにできるアクションを起こしていく」
- ・ 概要：保井ゼミでは、東日本大震災で大きな被害を受けた釜石市鶴住居地区に入り、仮設商店街の活性化や農業の再生の支援を行っている。2013年度は、被災地支援サークル「スタ学」と連携して学外の助成金を受け、毎月のスタディツアーと首都圏のマルシェ出店を実現し、震災の記憶を風化させない取り組みを進めている。また、2013年度は、隠岐郡西ノ島町出身の近藤弘志君の企画のもと、その母校である島前高校、西ノ島中学校、隠岐の国学習センターに通う生徒達とゼミの学生たちが、将来の展望、地域との関わり、悩みについて語り合う機会を実現した。ポスターセッションでは、こうした取り組みをもとに、学生が地域の人たちとつながり、何を感じたか、なぜこうしたアクションを起こしてきたのか、これから何をしようとしているのかについて報告したい。

活動報告 11

現代福祉学部 関司直也ゼミ

- ・ 発表学生：岡本なつみ・丸山早紀（福祉コミュニティ学科2年）、田上純・吉川晃平（同3年）
- ・ 活動テーマ：「関司ゼミのフィールドワーク紹介―「まいふれ」企画と島根県飯南町谷地区ゼミ合宿―」
- ・ 概要：関司ゼミは、食・農・環境・コミュニティなど多様な切り口から地域経済、地域社会が抱える諸問題の「見えないカラクリ」を洞察し、その解決策を現場から実践的に考える活動を行っている。そのベースとなるフィールドワークから、今回は、八王子市の仕事人を取材する「まいふれ」企画と、農山村地域に赴き地域の皆さんと交流を深めるゼミ合宿の様態を報告する。

活動報告 12

現代福祉学部 コミュニティスタディ実習

- ・ 発表学生：三浦翔平（福祉コミュニティ学科3年）
- ・ 活動テーマ：「各地の地域づくりを学ぶ」
- ・ 概要：地域づくりにおいて先進的な取り組みを行っている市町村で約2週間実習するプログラムで2004年度から始まり今年度が10年目にあたる。今年は13地域に学生たちが飛び出していった。

活動報告 13

現代福祉学部 遠野プログラム

- ・ 発表学生：澤田裕貴（福祉コミュニティ学科 2 年）
- ・ 活動テーマ：「被災地支援ボランティアツーリズムのモニタリング合宿」
- ・ 概要：東日本大震災が発生した夏から遠野市をベースキャンプとして沿岸域の復興支援ボランティアを継続している。今年度は総務省の「域学連携」事業において、30 数名の学生が 2 グループに分かれ、2 週間ずつ遠野に滞在しながら、ボランティア活動を行ってきた。

活動報告 14

現代福祉学部等 地域づくりインターンの会

- ・ 発表学生：水沼真由美（福祉コミュニティ学科 1 年）
- ・ 活動テーマ：「地域づくりをサポートするインターン」
- ・ 概要：日本の農山村と都市部の学生をむすぶきっかけづくりを行っている団体。主に夏の休みの 2～4 週間、首都圏に住む学生が、地方の農山村に赴き、そこで生活しながら住民の方々と一緒に地域づくり活動に取り組んでいる。会は今年で 13 年目を迎え、今年は全国 12 の地域を舞台に、60 名もの学生が活動してきた。

活動報告 15

現代福祉学部等 スタ学

- ・ 発表学生：近藤弘志（福祉コミュニティ学科 2 年）
- ・ 活動テーマ：「Let's start what students can do in Tokyo！」
- ・ 概要：スタ学は東京、岩手県釜石市を中心に活動をしている。「何かしたいけど、どうしよう」という学生が一步踏み出せるきっかけづくり、被災された方の自立支援につながる活動を行っている。